

2022年10月28日

各位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ～株式会社 テクノ北上～

株式会社北日本銀行（頭取 石塚恭路）は、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic（基本版）を通じて、株式会社テクノ北上様（代表取締役 鎌田浩希）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

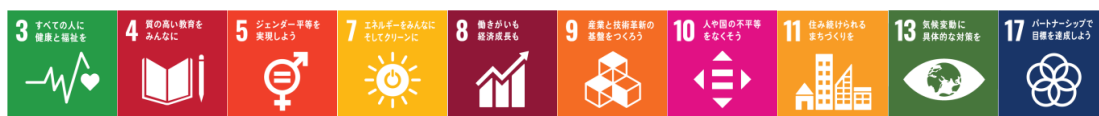
今後とも当行は、取引先企業さまの SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会社名	株式会社 テクノ北上
所在地	〒024-0011 岩手県北上市堤ヶ丘2丁目10-20
代表者	代表取締役 鎌田浩希
業種	製造業

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと（Basic：基本版）、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定（Progress：発展版）をお手伝い致します。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

営業統括部 事業コンサルティング室（担当：加藤） TEL：019-626-6529

企業概要



株式会社テクノ北上

代表取締役 鎌田浩希

(所在地：岩手県北上市)



株式会社テクノ北上



当社について

当社は1973年に設立し、岩手県北上市にて鉄工所として創業致しました。

ここ数年では大型プラント工事に携わり、各種水処理装置やバイオマス発電事業の大型搬送設備製作や石灰工場でのプラント品を製作しております。

その中でも水処理設備に関してはとりわけ力を入れてる分野であり、元請である水処理装置最大手のメーカー栗田工業(株)の協力会社として、産業排水ろ過装置等を数多く製作し、環境汚染対策に貢献しております。

今後、社は「何事にも迅速丁寧誠意を持って努力」の理念の基に、お客様第一に活動し、持続可能な地域社会の実現に向け、貢献して参ります。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	温室効果ガス排出量の削減、エネルギー使用量の削減、大気汚染の防止
従業員の働きがい	従業員の体の健康保持、従業員の心の健康保持、女性活躍の推進
地域社会への貢献	寄付活動、地域金融機関との連携、地域とのコミュニケーション
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、消費者・顧客課題解決、業務効率化や生産性の向上

株式会社テクノ北上 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2022年10月28日
株式会社テクノ北上
代表取締役 鎌田浩希

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

環境関連の法令遵守と環境保護に配慮した事業活動に取り組むとともに、環境経営に関する社内浸透を進めます。

▼ 目標・取り組み内容

- ・ 10年後までに事業活動に関わるCO2排出量を30%削減いたします
- ・ エネルギー使用量を前年と比較して削減して参ります
- ・ ヒュームガス排出量を削減する溶接方法の検討と実施をいたします

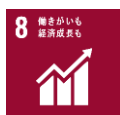
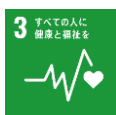
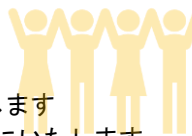


従業員の働きがい

ワークライフバランスとダイバーシティの実現により働き甲斐のある職場を目指します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・ 定期健診後の精密検査の受診率を100%にいたします
- ・ メンタルヘルス不調による休職の発生率をゼロにいたします
- ・ 全従業員の男女格差を是正し、女性活躍を推進いたします

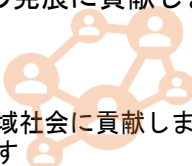


地域社会への貢献

地域の活性化に積極的に取り組み、地域社会の発展に貢献します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・ 地域行事、非営利団体への寄付活動を通じて地域社会に貢献します
- ・ SDGsに関連した設備投資の実施をいたします
- ・ 職場体験活動を実施することで地域に根差した企業を目指します

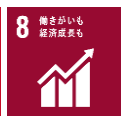


コンプライアンス・ガバナンス

企業理念や法令順守の為に、全従業員の意識統一を図り、信頼される企業を目指します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・ 情報取扱に関する社内研修を年1回実施いたします
- ・ 顧客起点の業務運営を徹底し、クレームゼロを目指します
- ・ I Tの活用や製造工程の見直しにより業務純益を3%改善します



 北日本銀行

【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ 「SDGs経営推進プロジェクト」】